

若手による次の時代のリスク評価を考えるワークショップ -ポスト3.11.のリスクガバナンスの失敗学-

企画者：保高徹生（産総研），小野恭子（産総研），永井孝志（農環研），岸本充生（産総研）

日時：平成23年11月18日（金）17:30～20:30
場所：静岡大学浜松キャンパス 工学部システム工学科2階A22教室
17:30-17:40 趣旨説明（保高）
17:40-19:00 話題提供(5名)
19:00-19:10 休憩・軽食（こちらで用意します）
19:10-19:15 まとめと議論の対象
19:15-20:30 ディスカッション

趣旨説明

本ワークショップでは、「ポスト3.11のリスクガバナンスの失敗学」と銘打ち、今回の震災に対してリスク評価研究者があまり貢献できていないのではないかと、との反省から、特に震災後の放射性物質問題を中心に、リスクガバナンスの混乱を、科学者、リスク評価、リスク管理、意思決定、リスクコミュニケーションの視点から振り返り、それらの根本原因を探ると共に、改善策について議論し、それらの作業を通して、具体的な問題の解決策を提示できる、次の時代のリスク評価・ガバナンスのあり方を若手の視点から探ることを目的とする。

失敗学、と銘打ったのは、失敗を振り返るだけの否定的なニュアンスではなく、それらの根本原因への対処法を検討することで、この失敗を糧として、新たなリスクガバナンス枠組みを創り上げていく、という心意気の現われである。参加者においては、各自が考える今回の震災（特に放射性物質）のリスクガバナンスの失敗学とその根本原因をあらかじめお考え頂いた上で、是非前向きな議論をお願いしたい。もちろん、成功学、として今回のリスクガバナンスの成功についても議論することも大歓迎である。

ワークショップは3名の新進気鋭のリスク研究者、自治体関係者（予定）、そしてリスク心理学の第一人者である中谷内先生による話題提供を行った後、企画者が論点整理を行った上でディスカッションを行う形式で進める。皆様の積極的な参加を期待したい。

話題提供者：主に放射性物質問題への対応を中心に議論する予定である。

科学者の行動の失敗学	保高徹生（産総研）
リスク評価の失敗学	小野恭子（産総研）
リスク管理の失敗学	永井孝志（農環研）
自治体のリスク評価に基づく意思決定（仮題）	調整中
コミュニケーションの失敗学	中谷内一也（同志社大学）

参加申込み 会場キャパシティの関係がございますので、参加を希望される方は、表題を【若手WS参加申し込み】としていただき、保高（t.yasutaka@aist.go.jp）まで、事前にご連絡を頂きますようお願い申し上げます。

問い合わせ先 独立行政法人産業技術総合研究所 保高徹生（やすたかてつお）
(Tel) 029-849-1545 (Mail) t.yasutaka@aist.go.jp